

平成 25 年度 東京都内湾水生生物調査 12 月稚魚調査 速報

●実施状況

平成 25 年 12 月 3 日に稚魚調査を実施した。天気は快晴で、気温 12.2~15.2℃、北よりの風 0~1.3m/s と弱く海は穏やかであった。当日は大潮で、10 時 58 分干潮、16 時 23 分満潮（東京都港湾局のデータ）だったが、12 月は時季的に昼間の干潮位が高く、城南大橋、葛西人工渚では干潟の干出は少なかった。各地点の概況を下表に示す。

各調査地点における確認個体数は 10 月と比較して減少した。お台場海浜公園で、成長したイシガレイの未成魚が確認された。お台場海浜公園以外の地点においてマゴチの稚魚が確認されたが、10 月調査の大型の個体と同じサイズであった。葛西人工渚で 8 月調査時大量に確認されたニホンイサザアミは、10 月に引き続き今回調査でも確認されなかった。

2013/12/3	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋
作業時刻	11:55-12:30	9:00-9:40	10:10-10:45
水温 (°C)	14.6	14.0	15.2
塩分	29.8	25.6	23.3
透視度 (cm)	100	100<	90
D0 (mg/L)	7.5	7.5	7.3
D0 飽和度 (%)	90.1	84.5	86.9
波浪 (m)	<0.1	<0.1	<0.1
pH	8.1	8.0	7.7
水の臭気	無臭	無臭	カビ臭 (微)
備考		当日は干潟の干出が少なかった。	当日は干潟の干出が少なかった。

注)値は速報値のため変更の可能性もあります。

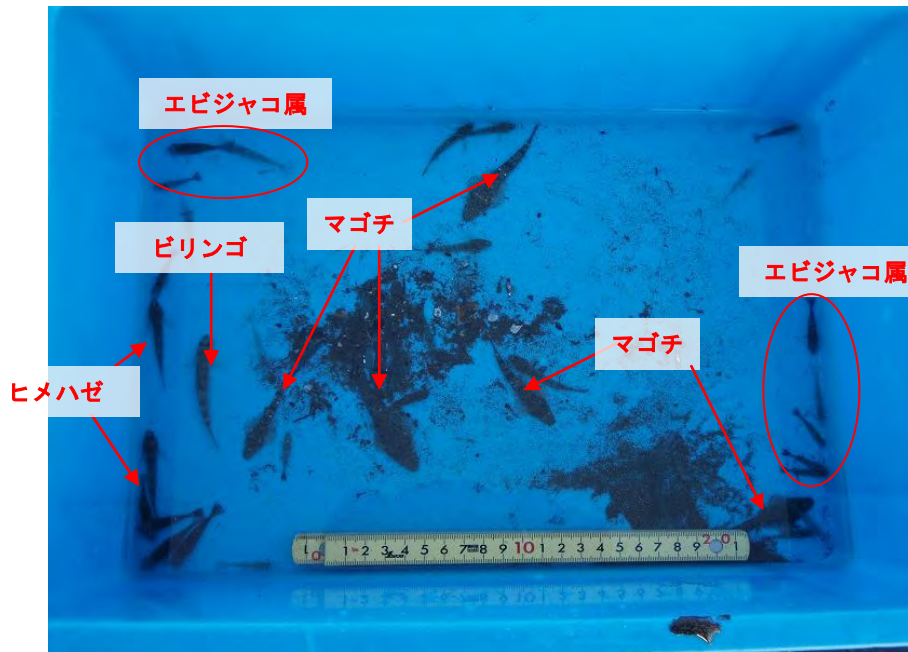
●主な出現種等(速報なので、種名等は未確定です)

主な出現種等	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋
魚種 (多い順 ^注)	マゴチ (+)	ビリンゴ (c)	マゴチ (r)
	ヒメハゼ (+)	ヒメハゼ (+)	ヒメハゼ (r)
	ビリンゴ (r)	コトヒキ (+)	
		イシガレイ (r)	
魚類以外	エビジャコ属 (+)	ユビナガホンヤドカリ (r)	エビジャコ属 (c)
	シラタエビ (+)	アサリ (r)	タカノケフサイソガニ (r)
備考		イシガレイは全長 15cm 近かった。 ビリンゴはいずれも成魚であった。	

注)表中の () 内の記号は大まかな個体数を表す。

G:1000 個体以上、m:100~1000 個体未満、c:20~100 個体未満、+:5-20 個体未満、r:5 個体未満

葛西人工渚 採取試料



調査地点の様子（やや潮位が高かった）



地曳網作業状況（海岸に対し垂直に曳網した。）

確認魚

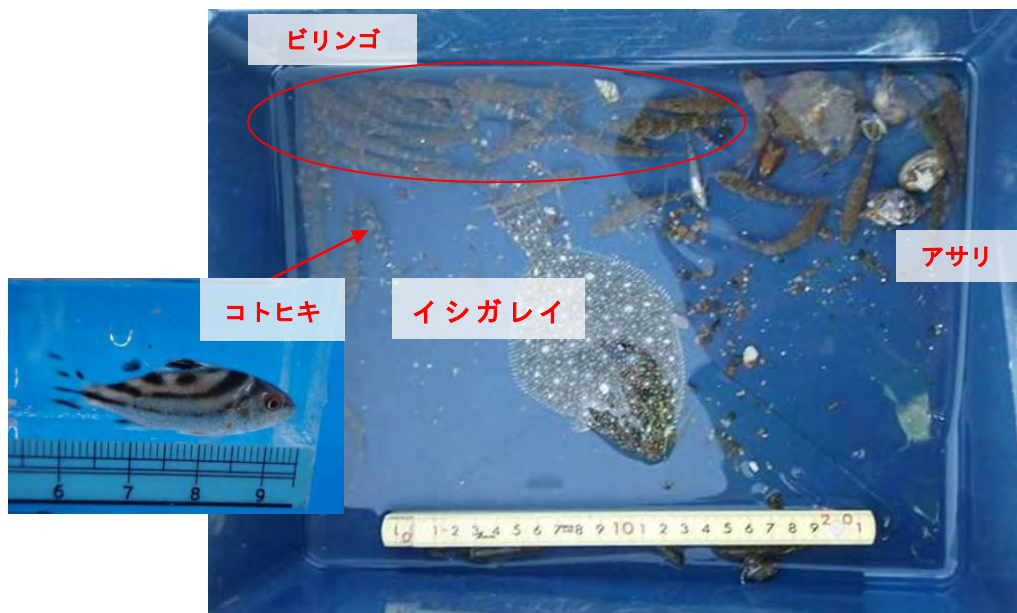


約 5～7cm のものが 5 個体確認された。（写真は固定標本）10 月調査時より 1 cm ほどしか成長していないので、別の系群である可能性もある。



東京湾の干潟の代表的なハゼ、約 4～5 cm ものが 6 個体確認された。他のハゼ類と異なり産卵期は 5 月から 9 月で、二枚貝の貝殻の中に産卵する。

お台場海浜公園 採取試料



調査地点の様子



地曳網調査の様子

確認魚

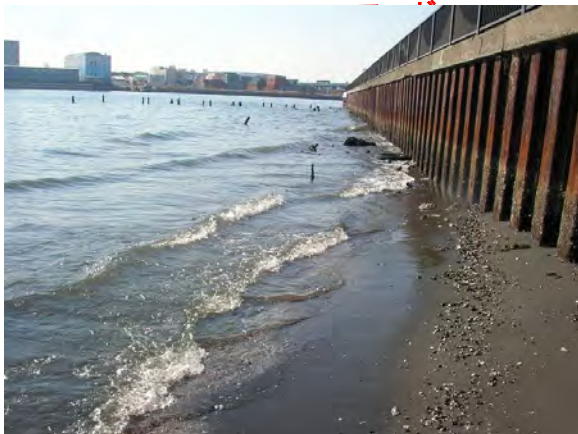
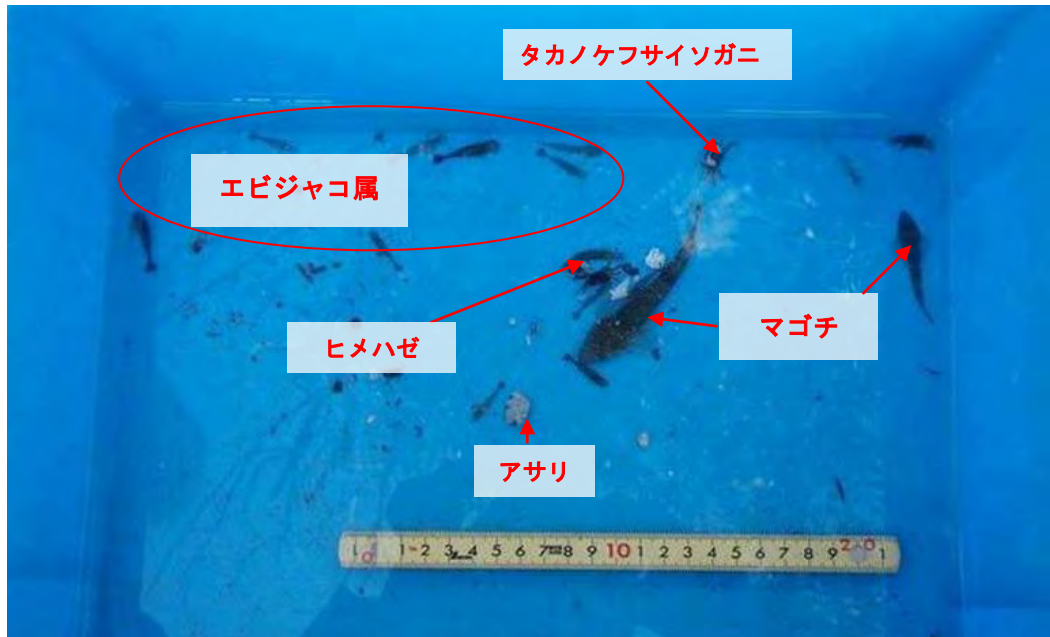


春季の調査では、しばしば3~4cmの稚魚が確認される。今回の調査では全長15cm近くに成長した個体が確認された。通常は成長に伴い沖合に移動するが、生息条件が良かったため残留したものと思われる。



前回の10月調査では多数確認された。今回の調査では数は減少していたが、大きさは約1cm成長していた。10月より滞在しているものと思われる。

城南大橋 採取試料

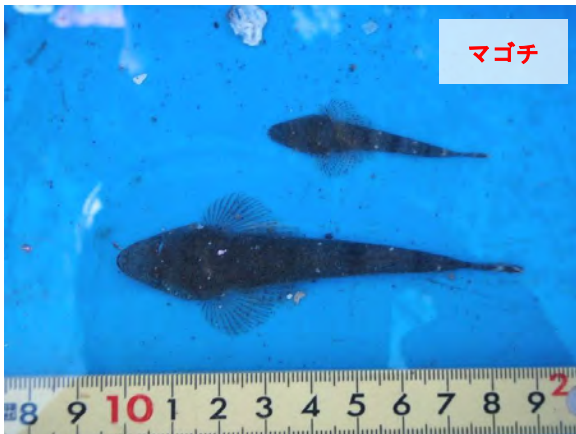


調査地点の様子
(干潟の干出は少なかった)



地曳網調査の様子

確認魚



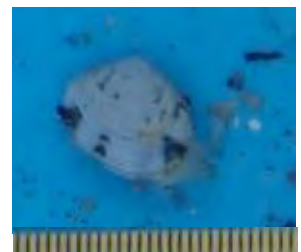
マゴチの稚魚は毎年夏季を中心に捕獲され、12月には成長した個体が確認される。本地点で確認された個体は2個体のみであったが、1個体は全長が9cmを超える大きさであった。

その他の水生動物

エビジャコ属



アサリ



エビジャコ属は20数個体確認されたが、アサリは1個体のみであった。